

令和4年度科学研究費補助金配分一覧（代表分）

基盤研究（B）

（単位：千円）

課題番号	研究課題	研究代表者		年度		
		職	氏名	令和4	令和5	令和6
21H03222	高齢者ケア事業所職員の感染対策リテラシー向上を目指した地域横断的プログラムの構築	教授	内海 桃絵	4,290	5,520	

基盤研究（C）

（単位：千円）

課題番号	研究課題	研究代表者		年度		
		職	氏名	令和4	令和5	令和6
20K10795	在宅精神障害者のエンド・オブ・ライフケアの実践的モデル構築	教授	郷良 淳子	650	1,170	
18K10578	気になる子供と養育者を支える農村型子育て世代包括ケアシステムモデルの構築	教授	志澤 美保			
23K07339	mTOR系活性亢進による小児難治てんかんの標的治療を目指した分子病態解明	教授	森本 昌史		1,100	1,400
19K10932	がんエンドオブライフを支える在宅ホスピスナーシングケア尺度の開発と課題の明確化	准教授	吉岡 さおり			
21K11148	在日コリアン1、2世高齢者と日本人高齢者の抑うつ関連要因の検討	准教授	伊藤 尚子	1,690	910	260
21K10576	行政保健師との共創を可能とする看看連携を構築する病院看護管理者教育プログラム開発	准教授	滝下 幸栄	500	800	
21K10828	看護師と子どもの目の疑義体験から小児の医療安全を学びVR教材の開発と評価	准教授	原田 清美	900	1,400	
22K10791	中堅女性看護師のレジリエンスを高めるセルフケアプログラムの開発	准教授	室田 昌子	1,100	800	1,300
18K10284	関節リウマチ患者の関節破壊評価による関節保護対策と看護プログラムの開発	講師	佐伯 良子			
19K102952	がん免疫療法を受ける患者のための口腔ケアプログラムの開発	講師	越智 幾世			
21K10803	ICUせん妄を発症した患者のPICS予防のためのケアプログラムの開発	学内講師	山田 親代	600	1,000	900
22K10982	大人が学ぶ包括的性教育プログラム開発と評価～対話型性教育構築をめざして～	学内講師	前田 絢子			

若手研究

（単位：千円）

課題番号	研究課題	研究代表者		年度		
		職	氏名	令和4	5	6
20K19230	高齢ボランティアと学童保育児童との関係場面にみるソーシャルキャピタルの形成過程	准教授	諏澤 宏恵	145	272	
23K12829	ゲーミフィケーションを適用したプレ看護実習プログラムの開発と効果	講師	川上 祐子		1,900	900
22K17506	「家族のケア力」に着眼した医療的ケア児支援センター連携のための家族支援指標の開発	講師	山口 未久	1,600	700	700

令和4年度科学研究費補助金分担配分およびその他の助成金

1 文部科学省、各省庁

(1) 文部科学省基盤研究

所属	職	氏名	代表 又は 分担	研究代表者				研究課題名	金額 (千円)
				所属機関名	部局	職	氏名		
基礎看護学	教授	内海 桃絵	分担	神戸女子 大学	看護学部	教授	中岡 亜希子	学生のプロフェッショナリズムを育む実習指導者のメンタリング能力向上プログラム構築	300
基礎看護学	教授	内海 桃絵	分担	横浜国立 大学	医学部	教授	千葉 由美	重症心疾患患者の全身・嚥下・栄養状態に応じた介入プログラム開発と効果検証	400
基礎看護学	教授	内海 桃絵	分担	兵庫医療 大学	医学部	教授	土田 敏恵	感染症に強い介護環境を提供する感染管理認定看護師によるプラットフォームの構築	638
精神看護学	教授	郷良 淳子	分担	大手前大学	国際看護 学部	教授	山本 純子	訪問看護を利用する在留外国人におけるACPプロセスの実践的モデル構築	260
地域看護学	教授	志澤 美保	分担	京都大学	こころの未来 研究センター	研究員	大塚 結喜	加齢による社会性低下機構の解明—感情と抑制機能を中心とする検討	20
地域看護学	教授	志澤 美保	分担	京都大学	医学系 研究科	講師	細川 陸也	社会情動的スキルの発達を促すプログラムの開発と大規模介入研究による効果検証	100
老年・在宅 看護学	教授	毛利 貴子	分担	兵庫県立 大学	看護学部	教授	森 菊子	慢性呼吸器疾患患者における息切れマネジメント力を高める看護ケアの構築	50
看護学科	准教授	伊藤 尚子	分担	畿央大学	健康科学部	准教授	文 鐘聲	在日コリアンハンセン病回復者・超高齢者コホートにより被差別経験と健康影響の解明	100
看護学科	准教授	伊藤 尚子	分担	金沢医科 大学	医学部	非常勤講師	中島 素子	机うつぶせ寝枕使用の午睡を取り入れた高校生版睡眠教育プログラムの開発と検証	0
基礎看護学	准教授	滝下 幸栄	分担	京都府立 医科大学	医学部	教授	松岡 知子	行政保健師との共創を可能とする看護連携を構築する病院看護管理者教育プログラム開発	100
成人看護学	准教授	室田 昌子	分担	京都府立 医科大学	医学部	学内講師	山田 親代	ICU せん妄を発症した患者の PICS 予防のためのケアプログラムの開発	100
精神看護学	講師	占部 美恵	分担	三重大学	医学系 研究科	准教授	宮田 千春	介護老人保健施設の心理的安全性に着目した看護師のパフォーマンス向上モデルの構築	50
小児看護学	講師	山口 未久	分担	滋賀医科 大学	臨床看護 学講座	准教授	荻田 美穂子	ALS 進行抑制のための在宅呼吸管理プログラムの開発；潜在的低酸素状態への着眼	193
小児看護学	講師	山口 未久	分担	兵庫県立 大学	地域ケア 開発研究所	教授	本田 順子	慢性疾患をもつ子どもを含む家族の役割移行を支える多職種協働プログラムの開発	100
基礎看護学	講師	山本 容子	分担	京都府立 医科大学	医学部	准教授	室田 昌子	中堅女性看護師のレジリエンスを高めるセルフケアプログラムの開発	50
成人看護学	学内 講師	山本 裕子	分担	京都府立 医科大学	医学部	准教授	室田 昌子	中堅女性看護師のレジリエンスを高めるセルフケアプログラムの開発	100
小児看護学	助教	中口 尚始	分担	大手前大学	国際看護 学部	教授	西村直子	親として生きる軟骨無形成症患者：多職種による子育て支援モデルの構築	100

2 都道府県・市町村・各種民間団体からの助成

助成金の名称（フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団）

所属	職	氏名	代表 又は 分担	研究代表者				研究課題名	金額 (千円)
				所属機関名	部局	職	氏名		
基礎看護学	教授	内海 桃絵	代表	大阪大学 大学院	医学系 研究科	准教授	内海 桃絵	地域包括ケアを基盤とした在宅ケア推進のための感染対策リーダーの育成事業	497

助成金の名称（公益財団法人 村田学術振興財団）

所属	職	氏名	代表 又は 分担	研究代表者				研究課題名	金額 (千円)
				所属機関名	部局	職	氏名		
地域看護学	准教授	諏澤 宏恵	代表	京都光華 女子大学	健康科学部 看護学科	准教授	諏澤 宏恵	看護教育における対象の健康課題アセスメント能力とケア創生力向上を目指したゲーム型学習教材の開発と効果測定	3000

助成金の名称（安田記念医学財団 癌看護研究助成）

所属	職	氏名	代表 又は 分担	研究代表者				研究課題名	金額 (千円)
				所属機関名	部局	職	氏名		
成人看護学	准教授	室田 昌子	代表	京都府立 医科大学	医学部	准教授	室田 昌子	外来化学療法を受けている高齢者単独世帯の男性がん患者が抱える療養生活の課題の明確化と必要な看護介入の検討	450
老年・在宅 看護学	講師	川上 祐子	分担	京都府立 医科大学	医学部	准教授	室田 昌子	外来化学療法を受けている高齢者単独世帯の男性がん患者が抱える療養生活の課題の明確化と必要な看護介入の検討	0
基礎看護学	講師	山本 容子	分担	京都府立 医科大学	医学部	准教授	室田 昌子	外来化学療法を受けている高齢者単独世帯の男性がん患者が抱える療養生活の課題の明確化と必要な看護介入の検討	0
成人看護学	講師	越智 幾世	分担	京都府立 医科大学	医学部	准教授	室田 昌子	外来化学療法を受けている高齢者単独世帯の男性がん患者が抱える療養生活の課題の明確化と必要な看護介入の検討	0

助成金の名称（公益財団法人 循環器病研究振興財団）

所属	職	氏名	代表 又は 分担	研究代表者				研究課題名	金額 (千円)
				所属機関名	部局	職	氏名		
成人看護学	学内 講師	山本 裕子	代表	京都府立 医科大学	医学部	学内講師	山本 裕子	慢性期にある心不全患者のスピリチュアリティを支える看護ケアの現状とその関連要因の検討	200

助成金の名称（日本私立看護系大学協会 2020 年度研究助成事業 若手研究者研究助成）

所属	職	氏名	代表 又は 分担	研究代表者				研究課題名	金額 (千円)
				所属機関名	部局	職	氏名		
小児看護学	助教	中口 尚始	代表	大手前大学	国際看護 学部	助教	中口 尚始	特別支援学校に通う児童生徒のきょうだいにおける生活習慣と健康関連 QOL に関する研究	393

3 その他

助成金の名称（大手前大学 2022 年度学長特別教育研究費）

所属	職	氏名	代表 又は 分担	研究代表者				研究課題名	金額 (千円)
				所属機関名	部局	職	氏名		
小児看護学	助教	中口 尚始	代表	大手前大学	国際看護 学部	助教	中口 尚始	「みんなで一緒に健康に！」プロジェクト～持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けた大阪グローバルヘルス都市構想；子育て期にある在留外国人家族応援企画～	108

京都府立医科大学看護学科紀要投稿規程

1. 原稿の種類

投稿原稿の種類は、論壇、総説、原著、研究報告、資料であり、それぞれの内容は以下のとおりである（図表を含む）。

【論壇】（Sounding Board）

保健看護領域や担当する専門領域に関する問題や話題や動向について、今後の方向性を指し示すような論述や提言（5頁以内）

【総説】（Review Article）

ある主題について研究論文、調査論文などを総括し、解説したもの（10頁以内）

【原著】（Original Article）

独創的な研究により、新しい知見を示した研究論文（10頁以内）

【研究報告】（Research Report）

研究結果の意義が明らかで、報告する価値が高いもの（10頁以内）

【資料】（Information）

保健看護領域や担当する専門領域に関連した活動・実践・調査データの報告等で、研究専門委員会において資料的価値があると認めたもの（7頁以内）

2. 投稿資格

本誌の投稿者は原則として本学の専任教員に限る。ただし、卒業生、大学院生、共同研究者等編集委員会が執筆を認めた者はこの限りではない。

3. 投稿論文の制約

論文は独創的な研究で、他誌に未発表のものに限る。また、倫理上問題となるものは採用しない。

4. 投稿論文の著作権（財産権）

本紀要に投稿された論文、抄録の著作権は、京都府立医科大学医学部看護学科に帰属する。

5. 執筆要領

1) 投稿原稿は和文もしくは英文のワープロ横書きで、A4版を用い、1頁は36字×30行（1080字）とする。原稿の長さは、原則として、希望する原稿の種類の数以内とする。なお、本誌1頁（原稿2枚分）は、A4版24字×45行の2段組となる。

2) 原稿の記述順序は、I) 表題、II) 著者名、III) 所属名、IV) 原稿の枚数及び図、表の数、V) 希望する原稿の種類、VI) 要約、VII) キーワード（3～5語）、VIII) 本文、IX) 文献とする。（I～VIIは表紙として1枚にまとめる。）

また、和文の原稿にあっては、表題、著者名、所属名の英文訳を付すること。

3) 原則として、漢字は当用漢字、送りがなは新かなづかいを用いるものとする。略字は、国際的慣例に従い、単位又は単位記号は国際単位系による。欧文文字、算用数字は2字1コマとする。

4) 図、表は、1枚の用紙に1つずつ記載し、まとめて原稿の末尾に添付する。本文中には図、表が挿入されるべき位置を明記する。なお、図、表の大きさは指定がない限り「原寸大」とする。

5) 文献は本文の引用箇所の右肩に番号をつけ、本文の最後にその番号順に次の方法で記載する。

著者名は3名までを表記し、それ以上は“他”又は“et al.”を用いる。

記述順序は、雑誌の場合、著者名（西暦発行年）：論文表題、雑誌名、巻：最初頁－最終頁、とする。雑誌名の省略はIndex Medicus及び日本医学雑誌略年表（日本医学図書館協会編）によるものとする。

単行本の場合は、著者名（西暦発行年）：書名（第何版）、引用頁、発行地：発行所とする。

例：雑誌の場合

金成由美子, 安村誠司 (2002) : 高齢者における転倒予防介入プログラムの有効性に関する文献的考察, 日本公衆衛生雑誌, 49 : 287-304.

Polit, D. F., Gillespie, B. M. (2009) : The use of the intention-to-treat principle in nursing clinical trials, Nursing Research, 58 (6) : 391-399.

例：単行本の場合

宗像恒次 (1996) : 最新行動科学からみた健康と病気, 10-20, 東京：メヂカルフレンド社.

6. 投稿原稿の提出

投稿原稿は、原稿 1 部と著者名及び所属名を削除した原稿のコピー 2 部を編集委員会に提出する。最終原稿提出時に、USB メモリ等の電子媒体（ファイル名「筆頭者（本文）」「筆頭者（図、表）」で保存したものを）を提出する。

7. 原稿の受け付けおよび採否

投稿原稿の採否は、査読を経て、編集委員会で決定し、投稿者に通知する。

また、編集委員会の決定により、投稿者に原稿の修正及び原稿の種類の変更を求めることがある。

8. 著者校正

原稿の校正は投稿者の責任において行い、原則として再校までとする。校正はすみやかにを行い内容及び組版面積に影響を与える改変は許されない。

9. 掲載料等

論文の掲載料及び別刷 30 部までは無料とする。ただし、別刷の増刷は著者の負担とする。

10. その他

この規程に定めるもののほか、紀要の編集に関して必要な事項は別に定める。

附 則

この規程は、平成 16 年 4 月 16 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 20 年 5 月 8 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 22 年 4 月 8 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 23 年 10 月 24 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 5 月 12 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 4 年 5 月 12 日から施行する。

編集委員長 吉岡さおり
編集委員 毛利 貴子 楠木 泉 滝下 幸栄
林 容子 占部 美恵 山口 未久
吉岡友香子 山本 裕子 松尾 綾子

京都府立医科大学看護学科紀要 第33巻

令和5年12月22日 発行

発行 京都府立医科大学医学部看護学科
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町 465
TEL (075) 251-5166

印刷 株式会社 田中プリント
〒600-8047 京都市下京区松原通麩屋町東入石不動之町 677-2
TEL (075) 343-0006
